



令和6年度

シニア 災害ボランティア シンポジウム

in 和歌山

— 地域福祉フォーラム —



令和6年8月25日(日) 13:30~15:50

メイン会場

和歌山県立情報交流センターBig・U
多目的ホール
(〒646-0011 和歌山県田辺市新庄町3353-9)

オンライン
視聴会場

中辺路保健センター
(〒646-1421 和歌山県田辺市中辺路町栗栖川329-1)

定員

メイン会場300名/オンライン視聴会場50名

主催

和歌山県
一般財団法人地域社会ライフプラン協会

共催

田辺市民生児童委員協議会、田辺市福祉委員連絡会、
田辺市ボランティア連絡協議会、田辺市社会福祉協議会

プログラム

13:00
13:30-13:35
13:35-14:35
14:35-14:50
14:50-15:50
15:50

開場
開会挨拶

講演会

非常時に備えた普段からの地域づくり・
シニア層にボランティアとして期待すること

講師 李仁鉄(りじんてつ)氏 / 特定非営利活動法人にいがた災害ボランティアネットワーク 理事長

休憩

パネルディスカッション

ボランティア活動とこれからの課題 ~災害時にもシニアのチカラと
キモチを分かち合おう~

閉会挨拶



参加無料
手話通訳
要約筆記
あり



※このシンポジウムは、自治宝くじの市町村振興事業として、一般財団法人全国市町村振興協会の助成金を活用して開催しています。

開催趣旨

近年、我が国では大規模な災害が毎年のように発生しており、本県においては令和5年6月の梅雨前線及び台風2号の影響による浸水被害、さらには令和6年元旦に発生した能登半島地震の被災地支援を通じ、私たちは、平時からの地域のつながりと災害への備えの大切さを再認識しました。

災害への備えを考えると、「自助」「共助」「公助」の3つに分けることができますが、防災、減災、復興には「自助」「公助」はもとより、普段からの顔の見える関係が非常時の支え合いに繋がり、被災後も一体となって復興に取り掛かる「共助」の力は大変重要です。少子高齢化が進む現在、つながりづくりの主力となるボランティアとして豊富な知識と経験を持つシニア世代の活躍が期待される中、和歌山県と一般財団法人地域社会ライフプラン協会は、本シンポジウムを地域ボランティアと行政・社協等が一体となり災害に強い地域づくりについて一緒に考える機会とさせていただきます、開催いたします。

パネルディスカッション

テーマ

ボランティア活動とこれからの課題 ～災害時にもシニアのチカラとキモチを分かち合おう～

コーディネーター

南出 考(みなみで・こう)氏 和歌山県社会福祉協議会 災害ボランティアセンター 所長

パネリスト

松田 剛人(まつだ・たけと)氏
古尾自主防災会 代表

早稲田 眞廣(わせだ・まさひろ)氏
日本防災士会和歌山県支部 支部長

手谷 雅樹(てだに・まさき)氏
田辺市社会福祉協議会 主任

参加申込

和歌山県環境生活部生活局県民生活課

TEL: 073-441-2092

FAX: 073-433-1771

Eメール: e0313002@pref.wakayama.lg.jp

FAXは下記フォームにご記入の上、お申し込みください。

※お申込みされた方への整理券等の発行はいたしません。直接、会場へお越しください。

※気象状況により、やむを得ず中止することがあります。中止の際は、メールにてお知らせいたします。メールアドレスの記載がない方には、電話にてご連絡をいたします。

申込締切：令和6年8月9日金

講演

テーマ

非常時に備えた普段からの地域づくり・シニア層にボランティアとして期待すること

講師

李 仁鉄(り・じんてつ)氏
特定非営利活動法人にいがた災害ボランティアネットワーク 理事長



救急病院に勤務していた2004年に水害で自身が被災し『災害ボランティア』を初めて身近に感じ、その3か月後に発生した新潟県中越大地震の際はボランティア活動に参加。その後、ボランティア仲間から誘われ『にいがた災害ボランティアネットワーク』にスタッフとして参画。会の法人化に伴い常勤職員となる。2008年5月より事務局長、2017年から現職。

平時には、講演講師やマニュアル策定、訓練監修、非常時の初動対応・事業継続・再編計画の助言等を行っている。

災害時には被災地へ緊急救援スタッフとして派遣され、一日も早い暮らしの回復に向けた災害ボランティアセンター設置運営を中心とした支援活動や、災害復興期のボランティア・市民活動支援を行っている。

交通アクセス



- 公共交通機関をご利用の場合…JR白浜駅からタクシーで約10分
- お車をご利用の場合…南紀白浜ICから車で約15分

当日に「つながり応援マーケット」を実施しています。
地元福祉作業所や、ボランティア団体による焼き菓子や多肉植物、雑貨などの販売があります。

令和6年度 シニア災害ボランティアシンポジウム in 和歌山 —地域福祉フォーラム—

FAX 申込書

※個人情報の収集、利用については、当シンポジウムに係る事務に必要な範囲内で利用させていただきます。

参加者氏名	所属	電話番号	メールアドレス

和歌山県環境生活部生活局県民生活課 FAX: 073-433-1771